



研究テーマ

- 1 遠隔教育システムとマイクロラーニングを融合した教員研修モデルの開発
- 2 GIGA スクール構想における先端技術を活用した新たな学びの構築
- 3 児童のプログラミング的思考を育む授業実践モデルの開発



小林 博典

こばやし ひろのり
教育学部
教育協働開発
センター

准教授

キーワード

GIGA スクール, AI, マイクロラーニング, eラーニング, 教育工学, 情報メディア, プログラミング教育, 遠隔教育, 情報教育, 教師教育

特許情報・
共同研究・
応用分野など

【現在推進中の共同研究】
・チャットボットを利用した教育相談システムの構築と検証(文部科学省 科学研究費補助金)

・生徒のセルフチェックによるe健康観察システムの開発と評価(文部科学省 科学研究費補助金)など



研究概要

教育における情報メディアを活用した取組について研究しています。

現在、文部科学省初等中等教育局 ICT 活用教育アドバイザーを務めており、2019～2020 年度、16 市町村・55 会場にて、教育における ICT の利活用に関する指導助言・講演活動を実施しました。

GIGA スクール構想の下で、様々な実践がスタートしています。「不易と流行」のバランスを意識した ICT の利活用について追究し、専門性を磨き、授業構想力を高めるための手立てについて、教職員の方々と協働で学び合い、研究を深めています。

1 下記、著書、学術論文などで実践成果をまとめました。遠隔教育やマイクロラーニングを活用した教員研修に関する実践です。

【著書】On-the-Job Training System to Support Gifted School Activities for In-Service Teachers with Online Video Conferencing

Hironori Kobayashi, Masahiro Nagai, Nobumoto Higuchi(担当:共著, 範囲:Chapter17, pp.370 - 400) IGI-Global 2019 年 12 月 (ISBN: 9781799814009)

【論文】プログラミング教育における対面研修とマイクロラーニングを融合した教員研修の開発と効果の検証 小林博典, 新地辰朗 臨床教科教育学会誌 2021 20(2) 61 - 68 2021 年 3 月

2 自治体と協働して研究を推進中(下記事例)。

・「GIGA スクール構想における先端技術を活用した新たな学びの構築」

～宮崎市の教育関連施設の利活用を事例として～

宮崎市企画政策課 地域貢献学術研究助成

2020.4 - 2022.3 (右写真:実践の一例)

・「ICT を活用した教育関連施設と学校との連携及び学びの提供」

～令和の宮崎型生涯学習体系の構築づくり～

宮崎市教育委員会生涯学習課 2021.4 - 2022.3

・「県立高等学校及び特別支援学校における ICT や先端技術(AI)、ビッグデータを活用した教育の質の向上に向けた実証研究」

宮崎県教育委員会高校教育課 2020.4 - 2022.3



3 2020 年度から本格実施となった小学校のプログラミング教育。具体的な実践事例をもとに、成果や課題を検証し、新たな授業実践モデルを開発中です。現在、下記のテーマで進めています。

「児童のプログラミング的思考を育む小学校理科の授業実践モデルの開発」

公益財団法人中谷医工計測技術振興財団 科学教育振興助成 2021.4 - 2024.3 (右写真:実践の一例)



ホームページ

Research map <https://researchmap.jp/hkoba/>

研究者データベース https://srhumdb.miyazaki-u.ac.jp/html/100000295_ja.html

技術相談に応じられる関連分野

ローカル 5G, AIドリル, チャットボット, 遠隔教育, 授業(校務)支援システム

メッセージ

公立学校教諭 16 年, 宮崎大学実務家教員 4 年, 県教育委員会 8 年, 校長 2 年の教職経験を活かしながら研究を推進中。私のゼミは、小中学校の先生方と協働で研究を進める「フィールド」型が特徴です。学校や自治体が抱える課題解決に向けて、教育実践に根差した研究を推進・追究していきたいです。